様式－3

アスファルト混合物報告書

年　　月　　日

様

製造会社

所在地	鳥取市古海1008-2
工場名	鳥取アスコン株式会社

配合の設計条件				
混合物の種別	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
細粒度アスコン(13)	13(mm)	2.338(g/cm³)	160(℃)	
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
4.0(%)	79.3(%)	6.89(kN)	33(1/100cm)	
DS値				
使用材料および配合表				
使用材料名	産地名	生産者名	配合率(%)	備考
ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ(60～80)	岡山県倉敷市水島	ＥＮＥＯＳ（株）	6.8	
石粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	5.1	
砕石5号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)		
砕石6号			24.1	
砕石7号			11.7	
砕砂			23.5	
粗砂	佐賀県唐津市	住若海運（株）	15.7	
細砂	鳥取市伏野	（有）仁徳砂利	13.1	
再生骨材				
再生用添加剤				

アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：　　細粒度アスコン（１３）

２０２４年　２月

鳥取アスコン　株式会社

アスファルト混合物配合設計総括表

試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）

試　験　者　大西　康夫

１．使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産　地	材　質
砕石6 号	坂田砕石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕石7 号	坂田砕石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕砂	坂田砕石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
粗砂	住若海運株式会社	佐賀県唐津市	天然砂
細砂	有限会社仁徳砂利	鳥取市伏野	天然砂
石粉	足立石灰工業株式会社	岡山県新見市足立	石灰岩粉末
ＳｔＡｓ（６０－８０）	ＥＮＥＯＳ株式会社	岡山県倉敷市水島	ＳＴＡｓ６０－８０

２．使用骨材の配合割合

材 料	砕石6 号	砕石7 号	砕砂	粗砂	細砂	石粉					計
配合割合％	２５．９	１２．５	２５．２	１６．８	１４．１	５．５					１００．０

３．合成粒度

ふ　る　い　目		53 mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600 μm	300	150	75
通過質量百分率％						100.0	99.7		75.0	59.0		34.2	22.5	9.6	7.5
粒度範囲	上 限					100	100		80	65		40	27	20	10
	下 限					100	95		65	50		25	12	8	4

４．設計アスファルト量の決定

試　験　項　目		最適ＡＳ量（％）	密　度（g/cm³）	理論密度（g/cm³）	空隙率（％）	飽和度（％）	安定度（kN）	フロー（1/100 cm）	残留安定度（％）
試　験　値		6.8	2.338	2.436	4.0	79.3	6.89	33	90.1
基準値	上　限	―――	―――	―――	6	85	―――	40	―――
	下　限	―――	―――	―――	3	70	4.90以上	20	75.0以上

※　マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

骨 材 試 験 成 績 表

目　的　配 合 設 計　　試験年月日　２０２４年　2月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試　験　者　大西　康夫

ふるい分け試験

	ふるい目の開き	砕石6 号	砕石7 号	砕砂	粗砂	細砂	石粉			
通過質量百分率％	５３　ｍｍ									
	３７．５									
	３１．５									
	２６．５									
	１９	100.0								
	１３．２	98.8	100.0		100.0					
	９．５									
	４．７５	6.5	94.3	100.0	99.2					
	２．３６		12.1	92.1	87.6	100.0				
	１．１８									
	６００　μｍ			37.5	31.5	98.9				
	３００			20.4	12.2	70.4	100.0			
	１５０			12.0	3.5	4.1	98.0			
	７５			8.8	1.0	1.1	88.2			

性状試験

試験項目		砕石6 号	砕石7 号	砕砂	粗砂	細砂	石粉			
密度	表乾	2.688	2.676	2.647	2.592	2.585	—			
	かさ	2.669	2.651	2.602	2.556	2.535	—			
	見掛	2.721	2.718	2.724	2.652	2.668	2.700			
吸水率／水分量％		0.71	0.93	1.72	1.43	1.96	0.01			
すりへり減量％		11.9	—	—	—	—	—			
安定性％		0.8	1.4	1.5	5.3	1.5	—			
微粒分量試験％		—	—	—	—	—	—			
軟石含有量％		0.6	—	—	—	—	—			
偏平細長石片％		1.0	—	—	—	—	—			
単位容積質量		1.562	1.502	1.752	1.665	1.547	—			
粘土塊量％		0.03	—	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—	—			
		—	—	—	—	—	—			

使用アスファルト性状表

目　　的　　配　合　設　計　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試　験　者　大西　康夫

＜使用するアスファルトの性状＞

種類・品名		ＳｔＡｓ（６０－８０）	
項　　目		試　験　値	規　格　値
針入度（２５℃）	(1/10mm)	６４	６０～８０
軟化点	(℃)	４９．０	４４．０～５２．０
伸度（１５℃）	（ｃｍ）	１４０+	１００以上
トルエン可溶分	(%)	９９．９６	９９．００以上
引火点	(℃)	３７４．０	２６０．０以上
薄膜加熱質量変化率	(%)	０．０８	０．６０以下
薄膜加熱針入度残留率	(%)	７３．４	５５．０以上
蒸発後の針入度比	(%)	１０２．０	１１０．０以下
密度（１５℃）	(g/cm³)	１．０４０	１．０００以上
マーシャル最適混合温度範囲	(℃)	１５１～１５６	―――
マーシャル最適締固め温度範囲	(℃)	１３９～１４４	―――

アスファルト混合物の配合設計

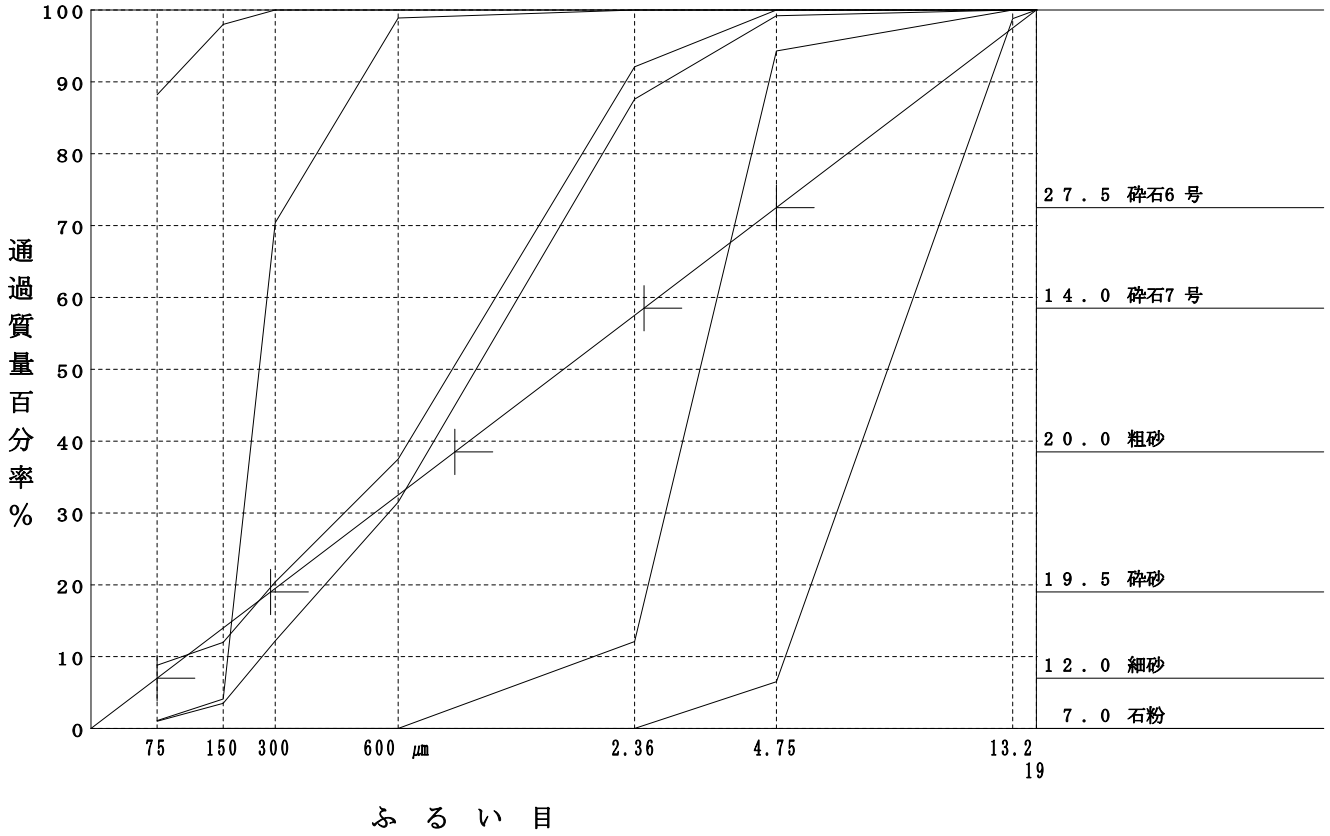
目　的　配合設計（室内）　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

１．使用予定骨材のふるい分け試験結果

フルイ目	使用予定骨材の通過質量百分率（％）								目標粒度
	砕石6 号	砕石7 号	砕砂	粗砂	細砂	石粉			
53 mm									
37.5									
31.5									
26.5									
19	１００．０								１００．０
13.2	９８．８	１００．０		１００．０					９７．５
9.5									
4.75	６．５	９４．３	１００．０	９９．２					７２．５
2.36		１２．１	９２．１	８７．６	１００．０				５７．５
1.18									
600 μm			３７．５	３１．５	９８．９				３２．５
300			２０．４	１２．２	７０．４	１００．０			１９．５
150			１２．０	３．５	４．１	９８．０			１４．０
75			８．８	１．０	１．１	８８．２			７．０

２．使用予定骨材の配合比決定図



骨材粒度設計（作図法）

目　的　配合設計（室内）　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

３．使用予定骨材の合成粒度　作図法

骨材		砕石6号	砕石7号	砕砂	粗砂	細砂	石粉		
配合率Ａ％		27.5	14.0	19.5	20.0	12.0	7.0		
通過質量百分率Ｂ％	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0							
	13.2	98.8	100.0		100.0				
	9.5								
	4.75	6.5	94.3	100.0	99.2				
	2.36		12.1	92.1	87.6	100.0			
	1.18								
	600 μm			37.5	31.5	98.9			
	300			20.4	12.2	70.4	100.0		
	150			12.0	3.5	4.1	98.0		
	75			8.8	1.0	1.1	88.2		

各骨材のふるい目の大きさ別配合率（Ａ）×（Ｂ）									合成	目標
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5										
19	27.5								100.0	100.0
13.2	27.2	14.0		20.0					99.7	97.5
9.5										
4.75	1.8	13.2	19.5	19.8					73.3	72.5
2.36		1.7	18.0	17.5	12.0				56.2	57.5
1.18										
600 μm			7.3	6.3	11.9				32.5	32.5
300			4.0	2.4	8.4	7.0			21.8	19.5
150			2.3	0.7	0.5	6.9			10.4	14.0
75			1.7	0.2	0.1	6.2			8.2	7.0

４．骨材の密度による配合率の補正

骨材									計
①　配合率									
②　密度									
③ ＝ ① × ②									
補正配合率 ③／計×１００									

骨材粒度設計（修正後）

目　的　配合設計（室内）　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

３．使用予定骨材の合成粒度　修正後

骨材		砕石6号	砕石7号	砕砂	粗砂	細砂	石粉		
配合率Ａ％		25.9	12.5	25.2	16.8	14.1	5.5		
通過質量百分率Ｂ％	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0							
	13.2	98.8	100.0		100.0				
	9.5								
	4.75	6.5	94.3	100.0	99.2				
	2.36		12.1	92.1	87.6	100.0			
	1.18								
	600 μm			37.5	31.5	98.9			
	300			20.4	12.2	70.4	100.0		
	150			12.0	3.5	4.1	98.0		
	75			8.8	1.0	1.1	88.2		

各骨材のふるい目の大きさ別配合率（Ａ）×（Ｂ）									合成	目標
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5										
19	25.9								100.0	100.0
13.2	25.6	12.5		16.8					99.7	97.5
9.5										
4.75	1.7	11.8	25.2	16.7					75.0	72.5
2.36		1.5	23.2	14.7	14.1				59.0	57.5
1.18										
600 μm			9.5	5.3	13.9				34.2	32.5
300			5.1	2.0	9.9	5.5			22.5	19.5
150			3.0	0.6	0.6	5.4			9.6	14.0
75			2.2	0.2	0.2	4.9			7.5	7.0

４．骨材の密度による配合率の補正

骨材									計
①　配合率									
②　密度									
③ ＝ ① × ②									
補正配合率 ③／計×１００									

骨 材 の 粒 径 加 積 曲 線 図

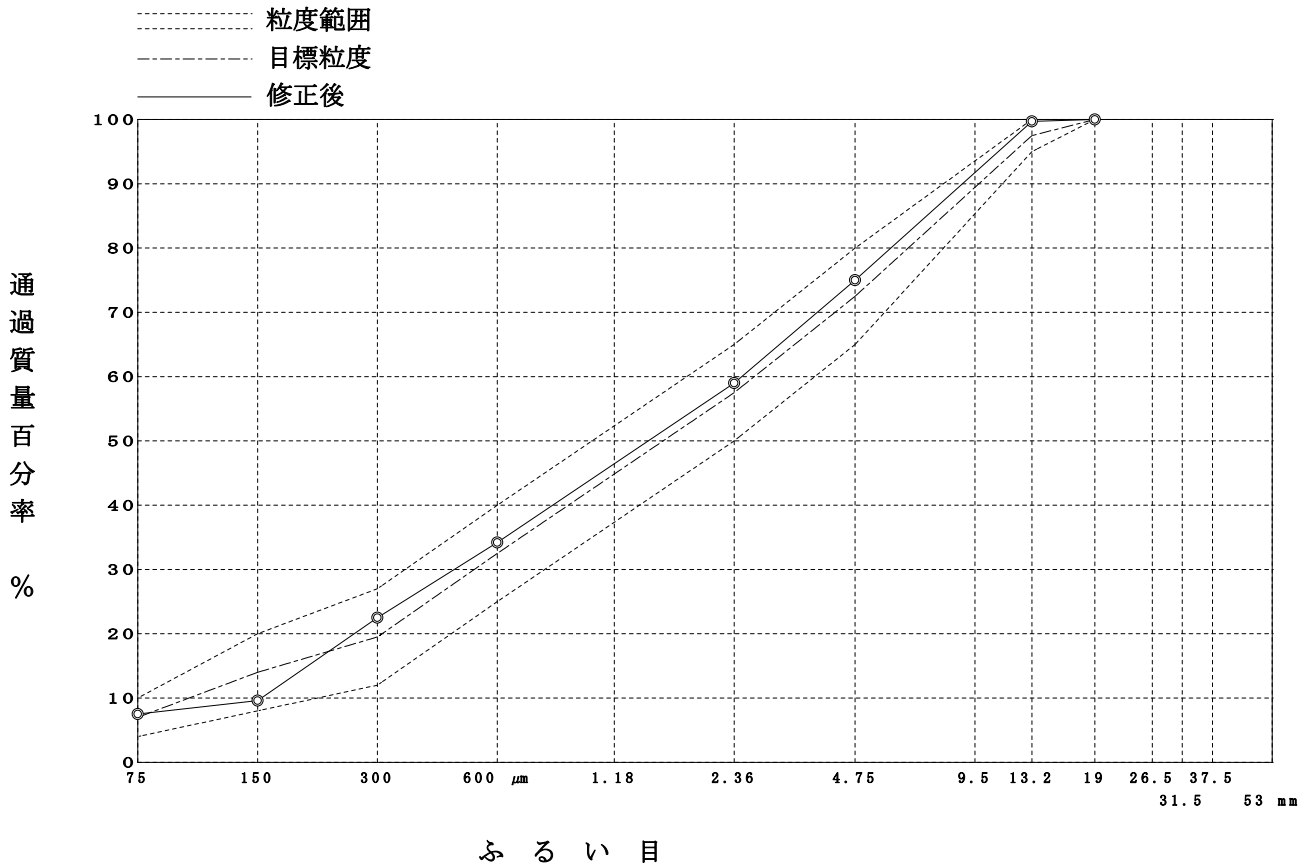
目　的　配 合 設 計 （ 室内 ）　　試験年月日　２０２４年　2月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試 験 者　大西　康夫

５．合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
５３ ｍｍ				
３７．５				
３１．５				
２６．５				
１９	１００．０	１００．０	１００．０	１００
１３．２	９９．７	９９．７	９７．５	９５ ～ １００
９．５				
４．７５	７３．３	７５．０	７２．５	６５ ～ ８０
２．３６	５６．２	５９．０	５７．５	５０ ～ ６５
１．１８				
６００ μｍ	３２．５	３４．２	３２．５	２５ ～ ４０
３００	２１．８	２２．５	１９．５	１２ ～ ２７
１５０	１０．４	９．６	１４．０	８ ～ ２０
７５	８．２	７．５	７．０	４ ～ １０

６．粒径加積曲線図



理論最大密度計算表

目　的　配合設計　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	配合率（％）	骨材の密度（g/cm^3）			計算に用いる密度	②／④
		表乾	かさ	見掛		
砕石6号	２５．９	２．６８８	２．６６９	２．７２１	２．７２１	９．５１９
砕石7号	１２．５	２．６７６	２．６５１	２．７１８	２．７１８	４．５９９
砕砂	２５．２	２．６４７	２．６０２	２．７２４	２．７２４	９．２５１
粗砂	１６．８	２．５９２	２．５５６	２．６５２	２．６５２	６．３３５
細砂	１４．１	２．５８５	２．５３５	２．６６８	２．６６８	５．２８５
石粉	５．５			２．７００	２．７００	２．０３７
Σ②＝	１００．０				Σ⑤＝	３７．０２６

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量（％）	アスファルトの密度	⑥／⑦	Σ⑤（１００－⑥）／１００	⑧＋⑨	理論最大密度 １００／⑩
６．０	１．０４０	５．７６９	３４．８０４	４０．５７３	２．４６５
６．５		６．２５０	３４．６１９	４０．８６９	２．４４７
７．０		６．７３１	３４．４３４	４１．１６５	２．４２９
７．５		７．２１２	３４．２４９	４１．４６１	２．４１２
８．０		７．６９２	３４．０６４	４１．７５６	２．３９５
６．８		６．５３８	３４．５０８	４１．０４６	２．４３６

マ　ー　シ　ャ　ル　安　定　度　試　験

目　的　配合設計（室内）　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

アスファルトの種類 ＳｔＡｓ（６０－８０）　アスファルトの密度（A） １．０４０　アスファルトの温度 １６０ ℃　骨材の温度 １８０ ℃

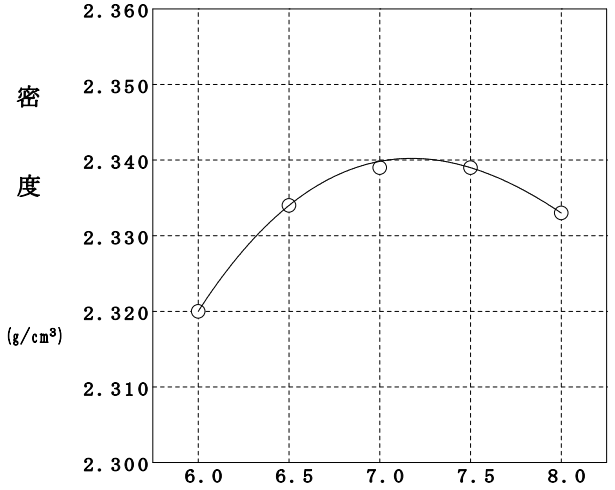
突固め温度 １４２ ℃　突固め回数 ５０ 回　力計の係数（B） ０．１１８７

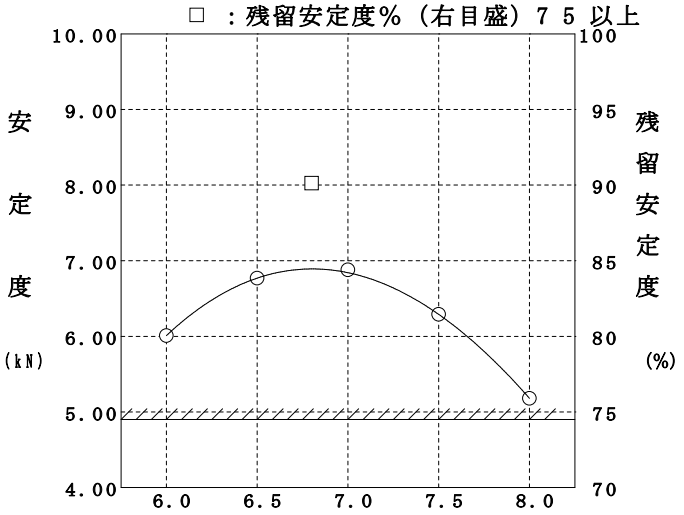
供試体条件	供試体番号	① アスファルト量 %	② 供試体寸法 厚さ（cm） 1	③ 2	④ 3	⑤ 4	⑥ 平均	⑦ 空中質量 (g)	⑧ 水中質量 (g)	⑨ 表乾質量 (g)	⑩ 容積 (cm³)	⑪ 密度 かさ (g/cm³)	⑫ 密度 理論 (g/cm³)	⑬ 容積アスファルト量 (%)	⑭ 空隙率 (%)	⑮ 骨材間隙率 (%)	⑯ 飽和度 (%)	⑰ 安定度 力計の読み	⑱ 安定度 (kN)	⑲ フロー値 1/100 cm	安定／フロー (kN/m)
											⑨－⑧	⑦／⑩		①×⑪／(A)	(1－⑪/⑫)×100	⑬＋⑭	⑬/⑮×100		(B)×⑰		
標準	1	6.0						1193.3	677.5	1194.3	516.8	2.309						53	6.29	30	
	2							1192.8	680.4	1193.9	513.5	2.323						51	6.05	28	
	3							1192.5	681.1	1193.6	512.5	2.327						48	5.70	28	
	平均											2.320	2.465	13.4	5.9	19.3	69.4		6.01	29	2072
標準	4	6.5						1198.4	683.5	1198.7	515.2	2.326						57	6.77	31	
	5							1200.9	686.6	1201.3	514.7	2.333						55	6.53	30	
	6							1197.9	687.3	1198.3	511.0	2.344						59	7.00	31	
	平均											2.334	2.447	14.6	4.6	19.2	76.0		6.77	31	2184
標準	7	7.0						1205.8	692.8	1206.1	513.3	2.349						59	7.00	32	
	8							1206.4	689.8	1206.7	516.9	2.334						56	6.65	36	
	9							1204.2	688.3	1204.5	516.2	2.333						59	7.00	35	
	平均											2.339	2.429	15.7	3.7	19.4	80.9		6.88	34	2024
標準	10	7.5						1208.8	691.2	1209.1	517.9	2.334						52	6.17	41	
	11							1210.4	693.7	1210.7	517.0	2.341						54	6.41	40	
	12							1208.9	693.2	1209.2	516.0	2.343						53	6.29	37	
	平均											2.339	2.412	16.9	3.0	19.9	84.9		6.29	39	1613
標準	13	8.0						1219.9	696.7	1220.0	523.3	2.331						41	4.87	45	
	14							1216.9	697.2	1217.0	519.8	2.341						43	5.10	46	
	15							1217.5	694.4	1217.6	523.2	2.327						47	5.58	44	
	平均											2.333	2.395	17.9	2.6	20.5	87.3		5.18	45	1151

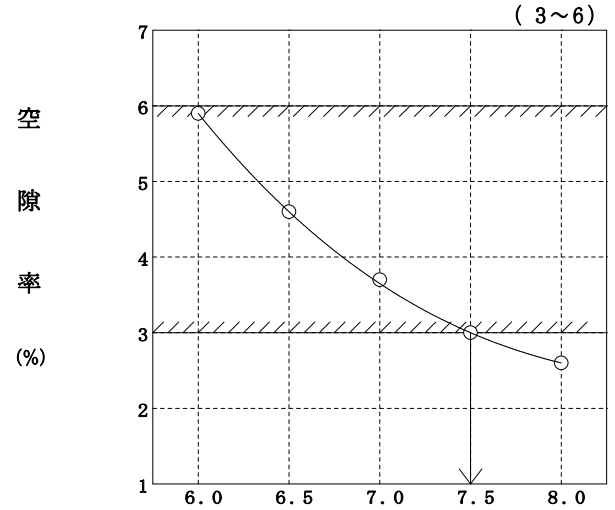
設計アスファルト量の決定

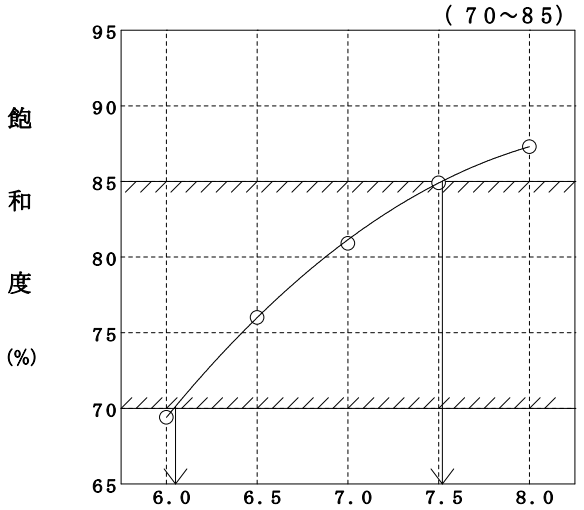
目　的　配合設計（室内）　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

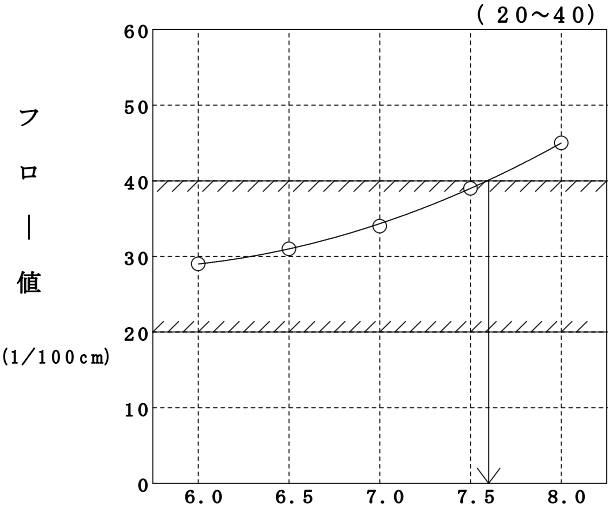
混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

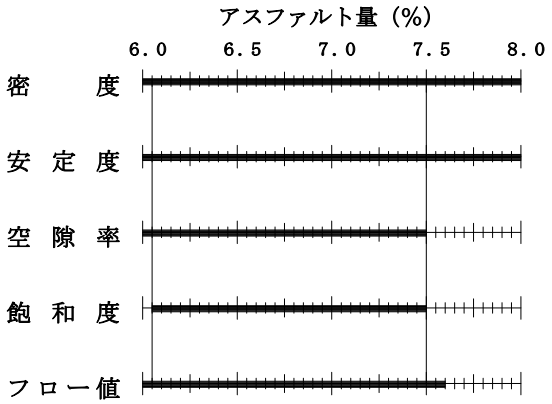












共通範囲　6.05～7.50　(%)

設計アスファルト量　6.8　(%)

残　留　安　定　度　試　験

目　的　配合設計（残留）
混合物の種類　細粒度アスコン（１３）

試験年月日　２０２４年　２月１４日
試　験　者　大西　康夫

アスファルトの種類 ＳｔＡｓ（６０－８０）　アスファルトの密度（A） １．０４０　アスファルトの温度 １６０ ℃　骨材の温度 １８０ ℃

突固め温度 １４２ ℃　突固め回数 ５０ 回　力計の係数（B） ０．１１８７

供試体条件	供試体番号	① アスファルト量 %	② 供試体寸法 厚さ（cm） 1	③ 2	④ 3	⑤ 4	⑥ 平均	⑦ 空中質量 (g)	⑧ 水中質量 (g)	⑨ 表乾質量 (g)	⑩ 容積 (cm³)	⑪ 密度 かさ (g/cm³)	⑫ 密度 理論 (g/cm³)	⑬ アスファルト容積 (%)	⑭ 空隙率 (%)	⑮ 骨材間隙率 (%)	⑯ 飽和度 (%)	⑰ 安定度 力計の読み	⑱ 安定度 (kN)	⑲ フロー値 1/100 cm	残留安定度 (%)
											⑨－⑧	⑦／⑩		①×⑪／(A)	(1－⑪／⑫)×100	⑬＋⑭	⑬／⑮×100		(B)×⑰		
標準	1	6.8						1202.0	688.1	1202.4	514.3	2.337						57	6.77	33	
	2							1203.4	689.5	1203.8	514.3	2.340						60	7.12	34	
	3							1202.3	688.7	1202.9	514.2	2.338						57	6.77	31	
	平均											2.338	2.436	15.3	4.0	19.3	79.3		6.89	33	
水浸	1	6.8						1203.3	686.7	1203.8	517.1	2.327						51	6.05	34	
	2							1202.0	688.8	1202.5	513.7	2.340						55	6.53	35	
	3							1203.2	691.4	1203.8	512.4	2.348						51	6.05	33	
	平均											2.338	2.436	15.3	4.0	19.3	79.3		6.21	34	90.1
	平均																				

ホットビンの合成粒度

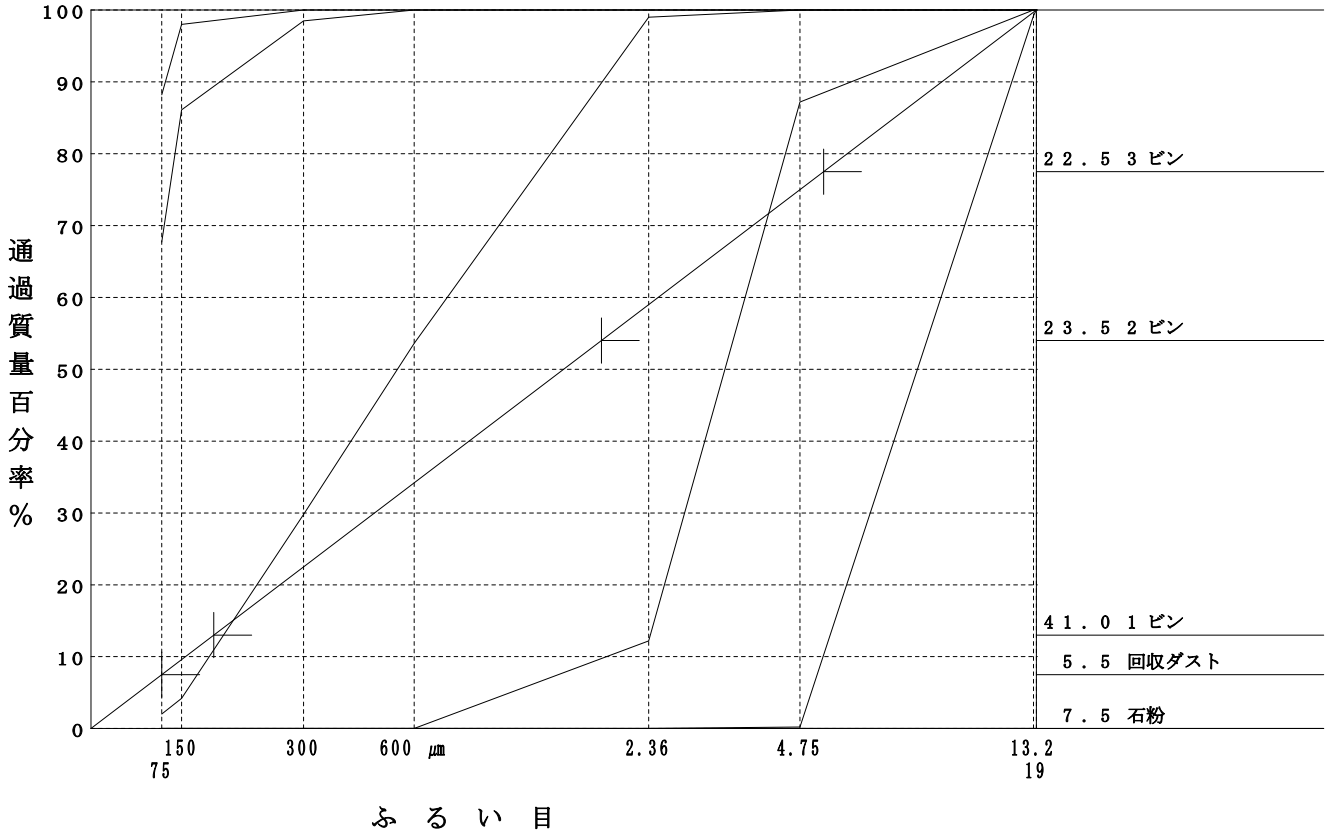
目　的　配合設計（現場）　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

１．使用予定骨材のふるい分け試験結果

フルイ目	使用予定骨材の通過質量百分率（％）								設計粒度
	1 ビン	2 ビン	3 ビン	4 ビン	回収ダスト	石粉			
53 mm									
37.5									
31.5									
26.5									
19			100.0						100.0
13.2		100.0	99.2						99.7
9.5									
4.75	100.0	87.2	0.2						75.0
2.36	99.0	12.2							59.0
1.18									
600 μm	53.6				100.0				34.2
300	29.8				98.5	100.0			22.5
150	4.2				86.1	98.0			9.6
75	2.0				67.7	88.2			7.5

２．使用予定骨材の配合比決定図



ホットビン粒度設計（作図法）

目　的　配合設計（現場）　　試験年月日　２０２４年　2月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン(１３)　　試験者　大西　康夫

３．使用予定骨材の合成粒度　作図法

骨材		1ビン	2ビン	3ビン	回収ダスト	石粉				
配合率Ａ％		41.0	23.5	22.5	5.5	7.5				
通過質量百分率Ｂ％	53 mm									
	37.5									
	31.5									
	26.5									
	19			100.0						
	13.2		100.0	99.2						
	9.5									
	4.75	100.0	87.2	0.2						
	2.36	99.0	12.2							
	1.18									
	600 μm	53.6			100.0					
	300	29.8			98.5	100.0				
	150	4.2			86.1	98.0				
	75	2.0			67.7	88.2				

各骨材のふるい目の大きさ別配合率（Ａ）×（Ｂ）									合成	設計
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5										
19			22.5						100.0	100.0
13.2		23.5	22.3						99.8	99.7
9.5										
4.75	41.0	20.5	0.0						74.5	75.0
2.36	40.6	2.9							56.5	59.0
1.18										
600 μm	22.0			5.5					35.0	34.2
300	12.2			5.4	7.5				25.1	22.5
150	1.7			4.7	7.4				13.8	9.6
75	0.8			3.7	6.6				11.1	7.5

４．骨材の密度による配合率の補正

骨材									計
①　配合率									
②　密度									
③ ＝ ① × ②									
補正配合率 ③／計×１００									

ホットビン粒度設計（修正後）

目　的　配合設計（現場）　　試験年月日　２０２４年　2月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン(１３)　　試験者　大西　康夫

３．使用予定骨材の合成粒度　修正後

骨材		1ビン	2ビン	3ビン	回収ダスト	石粉				
配合率Ａ％		49.1	20.6	22.4	2.1	5.8				
通過質量百分率Ｂ％	53 mm									
	37.5									
	31.5									
	26.5									
	19			100.0						
	13.2		100.0	99.2						
	9.5									
	4.75	100.0	87.2	0.2						
	2.36	99.0	12.2							
	1.18									
	600 μm	53.6			100.0					
	300	29.8			98.5	100.0				
	150	4.2			86.1	98.0				
	75	2.0			67.7	88.2				

各骨材のふるい目の大きさ別配合率（Ａ）×（Ｂ）									合成	設計
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5										
19			22.4						100.0	100.0
13.2		20.6	22.2						99.8	99.7
9.5										
4.75	49.1	18.0	0.0						75.0	75.0
2.36	48.6	2.5							59.0	59.0
1.18										
600 μm	26.3			2.1					34.2	34.2
300	14.6			2.1	5.8				22.5	22.5
150	2.1			1.8	5.7				9.6	9.6
75	1.0			1.4	5.1				7.5	7.5

４．骨材の密度による配合率の補正

骨材									計
①　配合率									
②　密度									
③ ＝ ① × ②									
補正配合率 ③／計×１００									

ホットビンの粒径加積曲線図

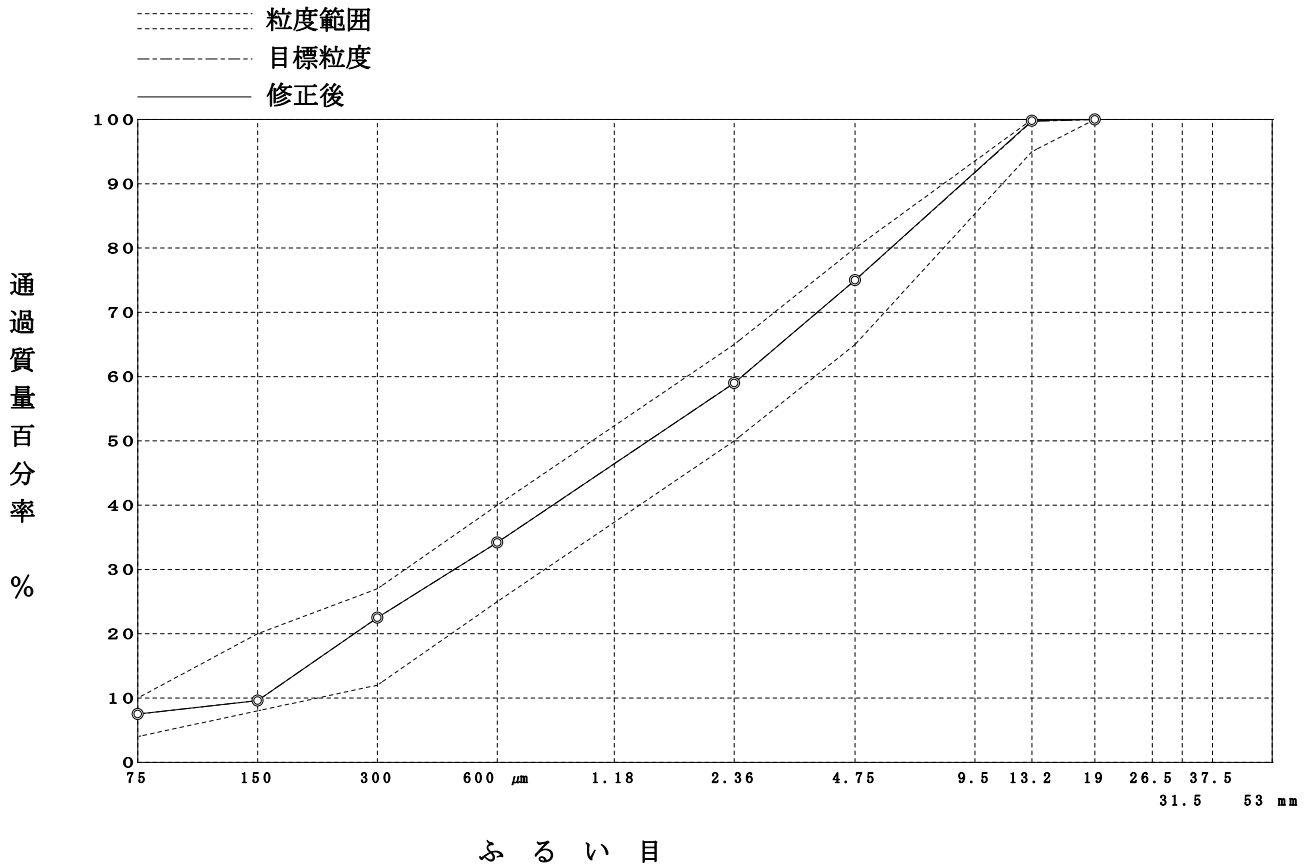
目　的　配合設計（現場）　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

５．合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
５３　ｍｍ				
３７．５				
３１．５				
２６．５				
１９	１００．０	１００．０	１００．０	１００
１３．２	９９．８	９９．８	９９．７	９５　～１００
９．５				
４．７５	７４．５	７５．０	７５．０	６５　～８０
２．３６	５６．５	５９．０	５９．０	５０　～６５
１．１８				
６００　μｍ	３５．０	３４．２	３４．２	２５　～４０
３００	２５．１	２２．５	２２．５	１２　～２７
１５０	１３．８	９．６	９．６	８　～２０
７５	１１．１	７．５	７．５	４　～１０

６．粒径加積曲線図



理論最大密度計算表

目　的　配合設計　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	配合率（％）	骨材の密度（g/cm^3）			計算に用いる密度	②／④
		表乾	かさ	見掛		
砕石6号	２５．９	２．６８８	２．６６９	２．７２１	２．７２１	９．５１９
砕石7号	１２．５	２．６７６	２．６５１	２．７１８	２．７１８	４．５９９
砕砂	２５．２	２．６４７	２．６０２	２．７２４	２．７２４	９．２５１
粗砂	１６．８	２．５９２	２．５５６	２．６５２	２．６５２	６．３３５
細砂	１４．１	２．５８５	２．５３５	２．６６８	２．６６８	５．２８５
石粉	５．５			２．７００	２．７００	２．０３７
Σ②＝	１００．０				Σ⑤＝	３７．０２６

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量（％）	アスファルトの密度	⑥／⑦	Σ⑤（１００－⑥）／１００	⑧＋⑨	理論最大密度 １００／⑩
６．８	１．０４０	６．５３８	３４．５０８	４１．０４６	２．４３６

マ　ー　シ　ャ　ル　安　定　度　試　験

目　的　配合設計（現場）　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試験者　大西　康夫

アスファルトの種類 ＳｔＡｓ（６０－８０）　アスファルトの密度（A） １．０４０　アスファルトの温度 １６０ ℃　骨材の温度 １８０ ℃

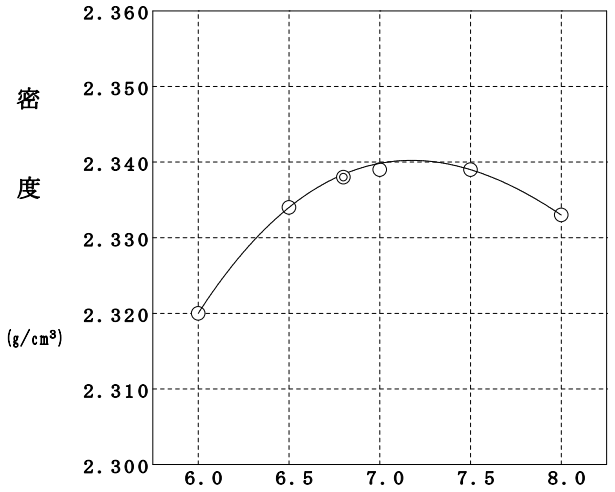
突固め温度 １４２ ℃　突固め回数 ５０ 回　力計の係数（B） ０．１１８７

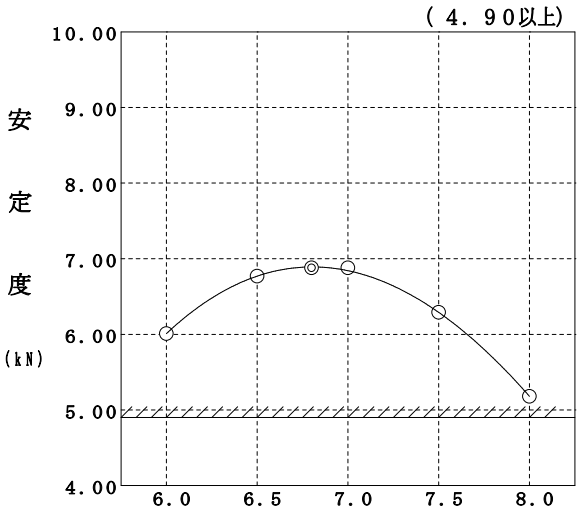
供試体条件	供試体番号	① アスファルト量 %	② 供試体寸法 厚さ（cm） 1	③ 2	④ 3	⑤ 4	⑥ 平均	⑦ 空中質量 (g)	⑧ 水中質量 (g)	⑨ 表乾質量 (g)	⑩ 容積 (cm³)	⑪ 密度 かさ (g/cm³)	⑫ 密度 理論 (g/cm³)	⑬ 容積 アスファルト (%)	⑭ 空隙率 (%)	⑮ 骨材間隙率 (%)	⑯ 飽和度 (%)	⑰ 安定度 力計の読み	⑱ 安定度 (kN)	⑲ フロー値 1/100 cm	安定／フロー (kN/m)
											⑨－⑧	⑦／⑩		①×⑪／(A)	(1－⑪／⑫)×100	⑬＋⑭	⑬／⑮×100		(B)×⑰		
標準	1	6.8						1204.8	690.0	1205.3	515.3	2.338						59	7.00	34	
	2							1204.8	688.2	1205.3	517.1	2.330						55	6.53	32	
	3							1203.4	691.2	1203.9	512.7	2.347						60	7.12	35	
	平均											2.338	2.436	15.3	4.0	19.3	79.3		6.88	34	2024
	平均																				
	平均																				

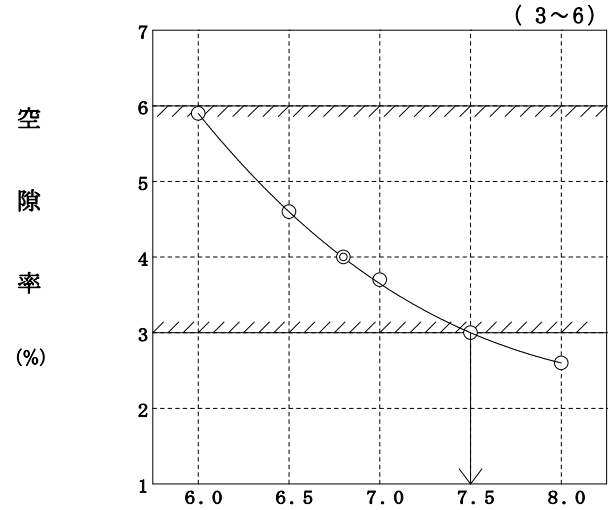
マ　ー　シ　ャ　ル　安　定　度　試　験

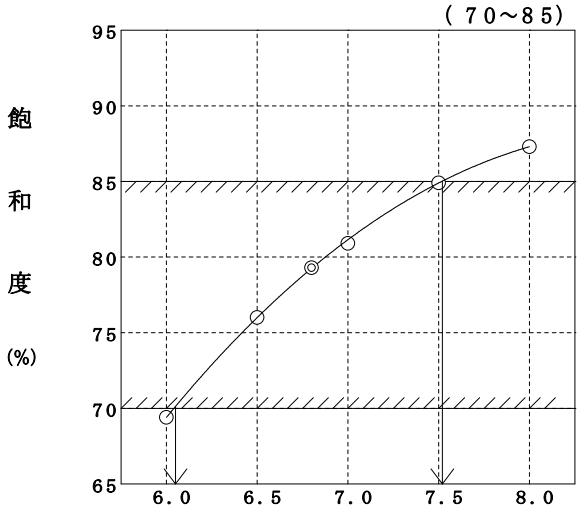
目　　的　　配　合　設　計　（　現場　）　　試験年月日　２０２４年　２月１４日

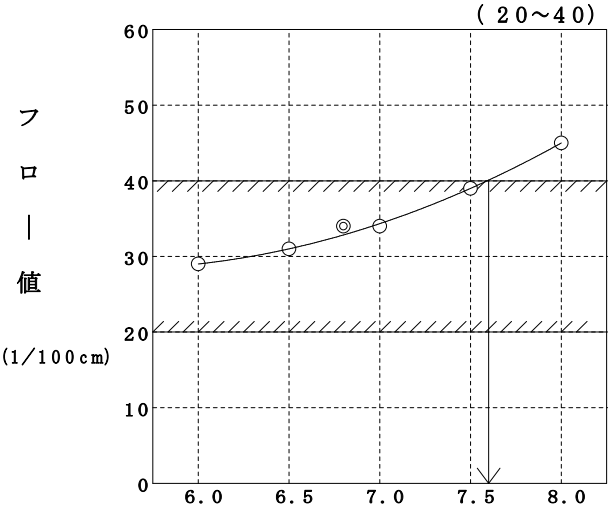
混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試　験　者　大西　康夫

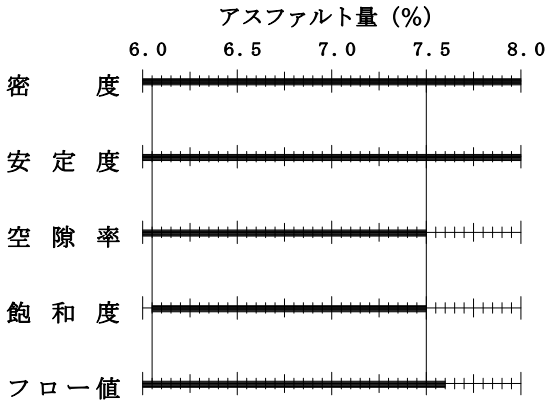












共通範囲　　６．０５～７．５０　（%）

設計アスファルト量　　６．８　（%）

現 場 配 合 の 決 定

目　的　配 合 設 計　　試験年月日　２０２４年　2月１４日

混合物の種類　細粒度アスコン（１３）　　試　験　者　大西　康夫

1バッチ　１０００　ｋｇ

	骨 材 配 合 比(%)	設計アスファルト量(%)	プラント配合比(%)	1バッチ質量（ｋｇ）	骨材累加質量（ｋｇ）
1　ビ　ン	４９．１		４５．７	４５７	４５７
2　ビ　ン	２０．６		１９．２	１９２	６４９
3　ビ　ン	２２．４		２０．９	２０９	８５８
回　収　ダ　ス　ト	２．１		２．０	２０	２０
石　粉	５．８		５．４	５４	５４
ア　ス　フ　ァ　ル　ト		６．８	６．８	６８	６８
合　計	１００．０		１００．０	１０００	１０００

（1）　混　合　温　度・・・・・・・・・・混合温度は１８５℃を超えない範囲でアスファルトの動粘度
１６０～２００ｃＳｔ（セイボルトフロール秒７５－９５）
のときの温度範囲から選び１６０　℃とする。

（2）　骨材加熱温度・・・・・・・・・・・混合温度より　２０　℃高くして１８０　℃とする。

（3）　アスファルト加熱温度・・・・・・混合温度と同じ１６０　℃とする。

（4）　初期転圧温度・・・・・・・・・・・動粘度２７０～３３０ｃＳｔ（セイボルトフロール秒１２５－１５５）の
範囲より選び１３０　±１０　℃とする。